

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して、基準日を定めることがあります。
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.mitsumi.co.jp/">http://www.mitsumi.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株
証券コード	6767

## 株式に関するお手続きについて

### ■証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と 返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の 配当金に関するご照会 ○株式事務に関する 一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、 ご照会等		口座を開設されている証券会社等に お問合せください。

### ■特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	特別口座 口座管理 機関	お問合せ先
○特別口座から一般口座 への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の 指定*	特別口座 管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に 関するご照会 ○株式事務に関する一般的 なお問合せ	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 電話:0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>

\*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選び  
いただけません。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6767**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、  
いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
アクセスできます 右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

## ミツミ電機株式会社

本社: 〒206-8567 東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2  
TEL: 042-310-5333(大代表) FAX: 042-310-5168  
URL <http://www.mitsumi.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



挑戦、ミツミフロンティア

**MITSUMI**  
<http://www.mitsumi.co.jp/>

第67期(2012年3月期)中間報告書 | 2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日

新製品開発、  
生産・販売体制、  
マーケティング機能を強化し、  
変化に対応できる強固な  
企業基盤を築いてまいります。



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。

ここに、2012年3月期第2四半期の事業のご報告にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期につきましては、新興国における景気拡大基調は継続したものの、世界経済全体としての成長スピードは鈍化したしました。日本経済につきましては、東日本大震災からの復興需要もありましたが、資源価格の高騰、為替相場における円高進行により、企業活動の停滞感が強まりました。

このような市場状況の下、当社グループは、アミューズメント関連製品の受注が伸び悩み、円高により売上高が目減りして収益は悪化いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は811億2千4百万円（前年同期比87.5%）となりました。損益につきましては、コスト削減諸施策を実施いたしましたが、営業損失46億2千7百万円、経常損失53億5千3百万円、四半期純損失55億9千9百万円となりました。

配当につきましては、安定的な配当の継続を目指してまいりましたが、2012年3月期通期は純損失を計上する見通しとなり、株主の皆様には大変申し訳ございませんが、2012年3月期の配当予想につきましては無配当に修正させていただきました。

今後も厳しい状況が継続するものと思われませんが、新製品開発を加速させ、海外の生産・販売ネットワークを再構築し、マーケティング機能の強化と生産拠点の最適化を推し進めていくことで、変化に柔軟に対応できる強固な企業基盤を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 森部 茂

### 当第2四半期の取り組みと成果

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観しますと、新興国における景気拡大基調の継続と先進国におけるエネルギー関連産業の継続的拡大、自動車産業の復調などが見受けられたものの、米国での失業率の高止まりや欧州におけるソブリンリスクの顕在化などの影響により、経済全体の成長は鈍化したしました。

日本経済につきましては、東日本大震災からの復興需要もありましたが、資源価格の高騰、為替相場における円高の進行により企業活動は停滞感が強まり、経済規模は前年以下にとどまる見込みです。

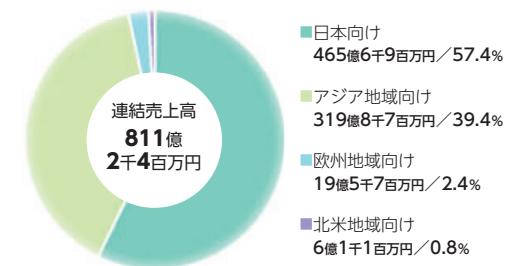
当電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末などの成長製品や車載関連製品市場は大幅に拡大いたしましたが、主力製品である薄型テレビやパソコン関連製品市場の伸び悩みに加え、世界経済の不透明感から年末商戦に向けた需要も盛り上がり欠けるなど、成長の鈍化傾向が鮮明になってきております。

このような市場状況の下、当社グループは、携帯機器用カメラモジュールなど一部製品の受注は増加いたしました。アミューズメント関連製品の受注が伸び悩んだ上、円高によって売上高が目減りしたため、収益は悪化いたしました。その結果、当第2四半期

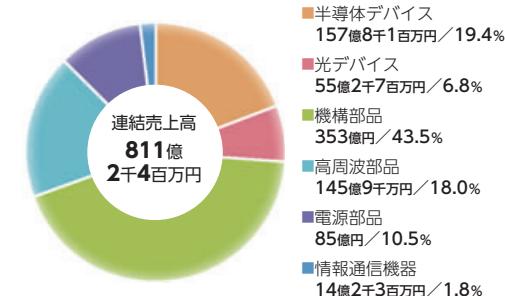
連結累計期間の売上高は811億2千4百万円（前年同期比87.5%）となりました。

地域別では、日本向けが465億6千9百万円、アジア地域向けが319億8千7百万円、欧州地域向けが19億5千7百万円、北米地域向けが6億1千1百万円となりました。連結売上高に占める海外売上高は345億5千5百万円となり、海外売上高の割合は42.6%となりました。

#### 第2四半期連結累計 事業地域別売上高構成比



#### 第2四半期連結累計 製品別売上高構成比



### 通期の見通し

世界経済につきましては、新興国における景気拡大は継続するものと想定されます。しかしながら、経済の牽引役であるエレクトロニクス産業及び自動車産業においてタイ洪水被害の影響は大きく、部品・部材の供給不足解消までには相当期間を要すると予測され、経済活動は不安定な状況が継続するものと思われまます。また、欧州におけるソブリンリスクの拡大懸念や米国における金融緩和の継続などによる円高圧力は、下期においても改善は見込めないものと想定しております。

### 決算ハイライト

第2四半期連結業績	2012年3月期見通し
売上高 <b>811億2千4百万円</b>	売上高 <b>1,680億円</b>
営業利益 <b>△46億2千7百万円</b>	営業利益 <b>△85億円</b>
経常利益 <b>△53億5千3百万円</b>	経常利益 <b>△95億円</b>
四半期純利益 <b>△55億9千9百万円</b>	当期純利益 <b>△100億円</b>

上記の業績見通しにおける為替レートにつきましては、上半期実績80円24銭/ドル、下半期77円/ドルを想定しております。なお、現時点で入手可能な情報と最も合理的と判断される一定の前提に基づき算定しておりますが、実際の業績などの結果は見通しと大きく異なることがあります。

今後、当社グループにおきましては、固有技術を一層強化して新製品開発を加速させ、海外の生産・販売ネットワークを再構築し、マーケティング機能の強化と生産拠点の最適化を推し進めていくことで、新たな成長分野に進出しながら環境変化に柔軟に対応できる強固な企業基盤を築いてまいります。

以上の見通しを踏まえ、2012年3月期の連結業績見通しは売上高1,680億円、営業損失85億円、経常損失95億円、当期純損失100億円に修正いたしました。なお、下期における為替の前提レートは1USドル80円\*を77円に変更しております。

\*2012年3月期第1四半期決算（2011年8月4日公表）において前提レートを1USドル83円から80円に変更しております。

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>142,955</b>	<b>143,800</b>
固定資産	<b>45,184</b>	<b>48,026</b>
有形固定資産	<b>37,425</b>	<b>39,814</b>
無形固定資産	<b>1,644</b>	<b>1,883</b>
投資その他の資産	<b>6,114</b>	<b>6,328</b>
資産合計	<b>188,139</b>	<b>191,827</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>56,186</b>	<b>50,243</b>
固定負債	<b>1,956</b>	<b>1,924</b>
負債合計	<b>58,143</b>	<b>52,167</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>147,864</b>	<b>155,214</b>
資本金	39,890	39,890
資本剰余金	43,252	43,252
利益剰余金	64,813	72,162
自己株式	△ 91	△ 90
その他の包括利益累計額	<b>△ 17,868</b>	<b>△ 15,554</b>
その他有価証券評価差額金	△ 0	6
為替換算調整勘定	△ 17,868	△ 15,560
純資産合計	<b>129,996</b>	<b>139,659</b>
負債純資産合計	<b>188,139</b>	<b>191,827</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日	前第2四半期累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日
売上高	<b>81,124</b>	<b>92,742</b>
売上原価	<b>79,889</b>	<b>88,730</b>
売上総利益	<b>1,235</b>	<b>4,012</b>
販売費及び一般管理費	<b>5,863</b>	<b>6,435</b>
営業損失(△)	<b>△ 4,627</b>	<b>△ 2,422</b>
営業外収益	222	458
営業外費用	948	1,270
経常損失(△)	<b>△ 5,353</b>	<b>△ 3,234</b>
特別利益	174	63
特別損失	1	—
税金等調整前四半期純損失(△)	<b>△ 5,180</b>	<b>△ 3,170</b>
法人税等	418	△ 1,246
四半期純損失(△)	<b>△ 5,599</b>	<b>△ 1,923</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日	前第2四半期累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>10,167</b>	<b>13,920</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 4,331</b>	<b>△ 6,862</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 1,749</b>	<b>△ 3,056</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>△ 1,036</b>	<b>△ 961</b>
現金及び現金同等物の増減額	<b>3,050</b>	<b>3,040</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>43,417</b>	<b>55,869</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>46,467</b>	<b>58,910</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### モバイル機器向け 太陽電池対応充電制御ICを開発

拡大を続ける太陽電池市場は、モバイル機器分野でも広がりをみせております。当社では、太陽電池対応のモバイル機器向けとして、従来の充電制御ICに比べ消費電流を1/10まで削減し、充電制御可能な低電流領域を1/100倍まで引き下げた低充電電流検出タイプの充電制御ICを開発いたしました。本製品は、2012年1月からの量産を予定しております。



MM3505XR  
(太陽電池対応充電制御IC)

### マイクロSDカード型無線LANモジュール (無線LAN+Bluetooth(3.0+HS)+アンテナ)を開発

カードタイプでありながら複合無線モジュールの市場が拡大してきております。この市場に向けた業界初の無線LANモジュールを、汎用性の高いマイクロSDカードスロットタイプで開発いたしました。カード内にアンテナを実装して簡易な取り扱いを実現した本製品は、2012年6月からの量産を予定しております。



DWM-W061  
(マイクロSDカード型無線LANモジュール)

### ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにもWebサイトを是非ご活用ください。

<http://www.mitsumi.co.jp/>



▲ トップ画面

▲ 株主・投資家情報

### 会社の概要 (2011年9月30日現在)

商号 ミツミ電機株式会社  
 設立 1954年1月  
 本社 東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2  
 営業所 東京、大阪、愛知、京都、兵庫、広島、福岡、香港、シンガポール、台湾  
 事業所 神奈川、北海道、秋田、山形、茨城、福岡  
 資本金 398億9,025万794円  
 従業員数 単体 2,916名  
 連結 44,495名  
 事業内容 電子部品・デバイスの製造および販売

### 名誉会長 (2011年9月30日現在)

名誉会長 森部 一夫

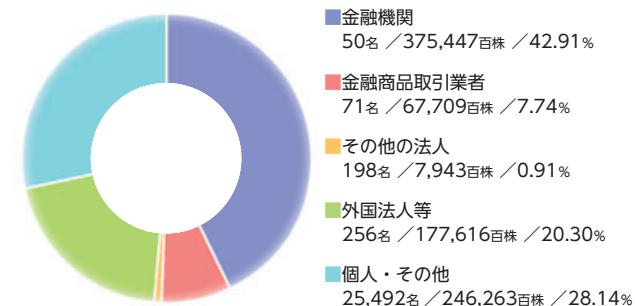
### 取締役・監査役 (2011年9月30日現在)

代表取締役社長	森部	茂
専務取締役	廣瀬	一宇
専務取締役	渡邊	昇造
専務取締役	廣瀬	康雄
常務取締役	大澤	和夫
取締役	保木	文雄
取締役	長岡	俊一
取締役	山田	一恵
取締役	古川	富士夫
取締役	齋藤	求
取締役	麻生	博史
取締役	藤原	恵照
常勤監査役(社外)	桜井	信成
常勤監査役(社外)	新屋	憲二
常勤監査役	野嶋	静海
監査役(社外)	原	幸

### 株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式の総数…………… 200,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 87,498,119株  
 株主数…………… 26,067名

### 所有者別株式分布図 (2011年9月30日現在)



(注) 当社は自己株式を45,387株保有しております。 (百株未満切捨て)

### 大株主 (2011年9月30日現在)

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	123,131	14.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	83,913	9.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	40,319	4.61
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	28,507	3.26
森部 昌子	24,771	2.83
JPモルガン証券株式会社	23,804	2.72
野村信託銀行株式会社(投信口)	17,111	1.96
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアーツ アカウト エスクロウ	15,489	1.77
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	11,274	1.29
森部 一夫	10,871	1.24

(注) 出資比率は自己株式を控除しております。また信託銀行の持株数には信託業務に係る株式数を含んでおります。

(百株未満切捨て)